

特集

親の介護と 夫婦のかかわり

安岡 厚子

(介護支援専門員)

		様
	変	わり
介	し	
護	て	
の	き	
現	た	
状		

「介護」と言えば、少し前までは、女性の仕事、特に家庭内の仕事と考えられていました。家庭の中での育児、介護は女性の仕事という役割から、社会的仕事としての介護職も女性がほとんどで、特別養護老人ホームの職員のことを「寮母」と言っていました。これもそんなに昔ではありません。私が介護の世界に仕事として入った、1985年当時はこの「寮母さん」は生きている言葉でした。

事業所をスタートさせた10年前を考えても、ホームヘルパーは女性の仕事でした。男性ヘルパーがいても仕事がない時代でした。介護の利用者もこの仕事は女性の仕事であると固定観念が強く、ある男性ヘルパーが女性の利用者のところにいったとき、「男がこんな仕事をするものじゃない。もっといい仕事を探さない」と言われるほどでした。このような固定観念が強い時代でしたから、家庭で介護する人も女性が圧倒的に多かったのです。

核家族化や女性の社会進出などの社会状況の変化により、家庭内での介護がむづかしくなり「介護地獄」という言